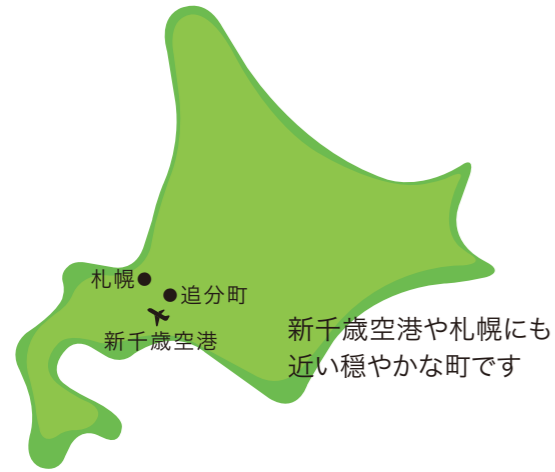
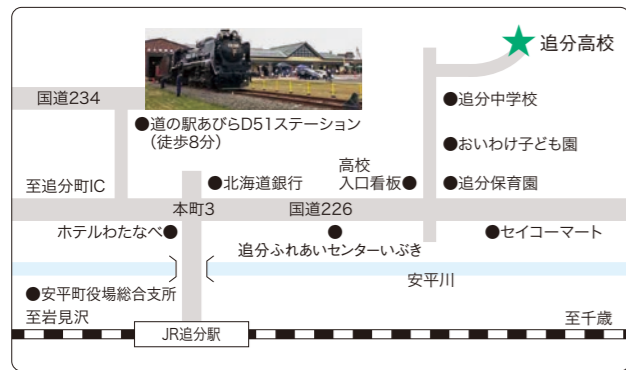


高く澄み切った
青空が似合う
追分の高台に建つ校舎



都市部からでも通学しやすい立地です

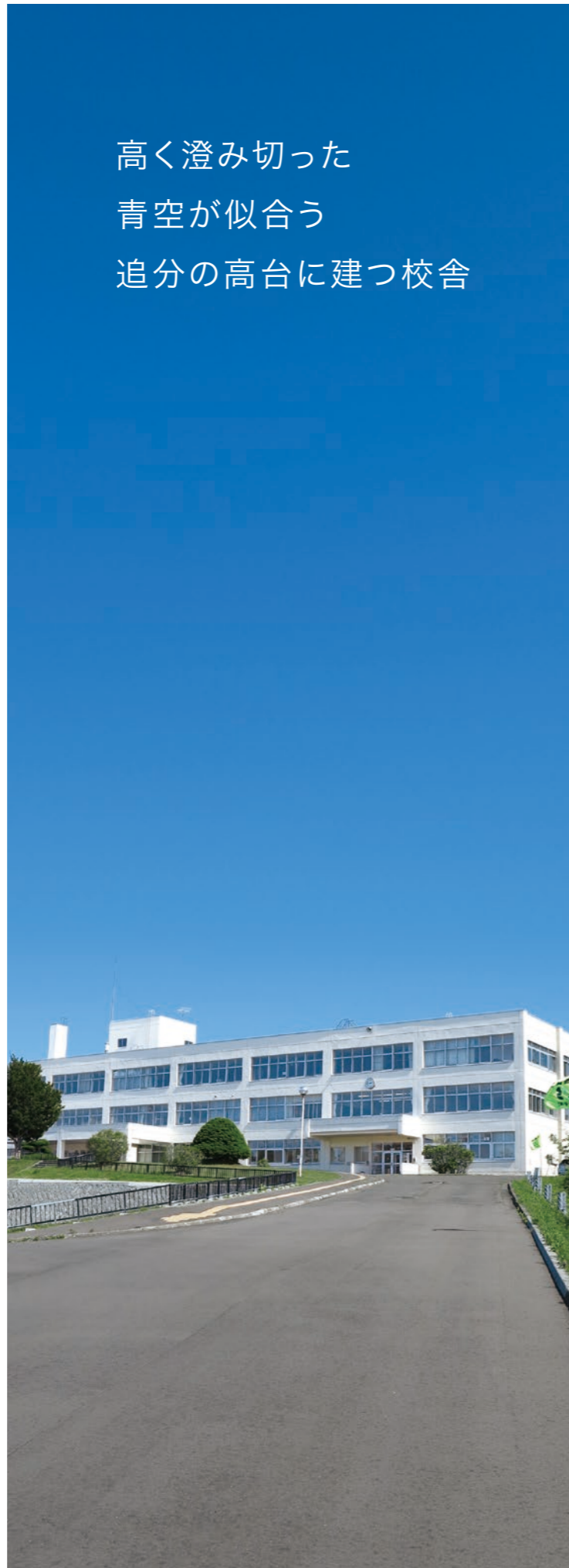
JR千歳駅	18分	JR追分駅 徒歩10分
JR沼ノ端駅	26分	
JR恵庭駅	28分	
JR苫小牧駅	36分	
JR新夕張駅	36分	



北海道追分高等学校

最新情報発信中

〒059-1911 北海道勇払郡安平町追分本町7丁目8番地
TEL・FAX 0145-25-2555(事務室) TEL 0145-25-3657(職員室)
<http://www.oiwake.hokkaido-c.ed.jp/>



個性を活かし チャレンジを応援

北海道追分高等学校
HOKKAIDO OIWAKE HIGH SCHOOL

少人数制による手が届く教育

脈々と受け継がれる生徒一人ひとりに寄り添う校風

成長に導く3年間 ◀



ICT(情報通信技術)も積極的に活用



本校では私服通学を採用しています。尚、進路行事などTPOをわきまえる際はスーツ着用を指導しています。

進路指導室

多様な個に応じた指導の充実

ステップアップ

生徒の意欲に応えます

- eラーニング(インターネット利用学習)
- 各種検定指導(英検・漢検・情報・危険物等)
- インターンシップ(2年生全員)
- ボランティア活動の実践
- プレゼンテーション(学習活動全般)
- 地域体験型授業(福祉施設訪問・パークゴルフ等)
- 大学・短期大学・専門学校指定校枠確保

フォローアップ

つまづきを見逃しません

- 英語・数学におけるTT(複数の教員が協力)及び習熟度別学習の推進
- スクールカウンセラーによる支援体制
- パートナーティーチャーによる支援体制(特別支援専門家)
- 個別面談随時(常に生徒全員の状況把握)
- 教員全員が生徒の教科担任
- 特別支援教育の推進(コーディネータ配置)
- 保護者・地域との連携・協力



教員のきめ細かなフォロー



ネイティブによる英語授業

追高の特色ある取り組み

高く評価されるボランティア活動

本校の特色ある教育活動の推進として、安平町の地域に根ざした数多くのボランティア活動に対する取り組みが高く評価され、胆振管内教育実践表彰も受けています。今後も継続的な地域貢献を通じ、豊かな社会性を育てていきます。



ノーザンホースパークマラソンスタッフ

体験型授業の充実

本校ではさまざまな体験学習を行っています。安平町ふるさと教育・学社融合推進事業によるミシュランガイド掲載店「そば哲」代表を講師に招いての調理実習や保育園交流、パークゴルフなど、地域の施設や人材と連携して「生きる力」を身につけます。



パークゴルフ(生涯スポーツ)

一人ひとりに学習支援

本校では一人ひとりに焦点を当てた学習支援を行っています。普段の授業ではもちろん、定期考査前にはテスト対策のための学習会を実施。進学を希望している生徒をはじめ、勉強に不安をかかえる生徒の個々に合わせ、丁寧な指導を心掛けています。



個別学習指導

学習成果発表会

「言語活動の充実」の集大成として、毎年1月に開催。選択科目を中心に、全校生徒に向け学習の成果を披露します。「マルチメディア」「食物研究」「自然科学入門」「演奏に親しむ」など多彩なプレゼンテーションがあります。



生徒プレゼンテーション

▶ 3年間の学習内容 - 基礎・基本の確立 / 言語活動の充実 / 本校独自の選択科目 - ※科目名は変更の可能性があります

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
1年	現代の国語	言語文化		公共				数学I	科学と人間生活	体育	保健	音楽I		英語コミュニケーションI	家庭総合	情報I	総合	L	H	R											
2年	論理国語	地理総合	歴史総合	数学II	数学A	生物基礎	体育	保健	音楽II		英語コミュニケーションII	家庭総合	情報I	総合	L	H	R														
3年	論理国語	地理探究	数学II	化学基礎	体育	論理・表現I	選択I ※1	選択II ※2	選択III ※3	選択IV ※4	選択V ※5	総合	L	H	R																

- ※1 演奏に親しむ 生活福祉援助技術 コンテンツの制作と発信
- ※2 フードデザイン 演奏に親しむ 情報デザイン
- ※3 服飾文化 理数探究基礎 情報の表現と管理
- ※4 生涯スポーツ 物理基礎 探究英語
- ※5 実用国語 現代社会研究 数学B

Challenge

興味・関心を高める地域探究授業 地学協働

安平町全体を学習フィールドと捉え、安平町ならではの施設である郷土資料館や鉄道資料館などの見学、安平町で働く人へのインタビュー、安平町特産物である大豆づくりやみそ作りなどの農業体験や加工体験学習を行います。高校3年の選択授業「食物研究」の一環として「こころ自然農園」を見学。平飼いで大切に育てている養鶏について、仕事に対するやりがいや課題などを学び、地域理解を深めています。見学後は生産された卵を使用した卵料理にも挑戦し、楽しい授業にもつなげています。



慎重に生みたての卵を集める 皆で料理に奮闘



卵料理の数々が完成 地産のおいしさに感動

高校生活

学年の枠を越えてつくりあげる学校行事やクラブ活動
一歩踏み出す自分に気がつきます

▶ 主な学校行事

4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式 前期始業式 進路ガイダンス 	10月	<ul style="list-style-type: none"> 後期始業式
5月	<ul style="list-style-type: none"> 高体連高文連壮行会 地域清掃ボランティア(3年) 	11月	<ul style="list-style-type: none"> 体育大会
6月	<ul style="list-style-type: none"> 遠足 インターンシップ(2年) 	12月	<ul style="list-style-type: none"> 見学旅行(2年) 冬季休業
7月	<ul style="list-style-type: none"> 追高祭 進路出陣式(3年) 夏季休業 	1月	<ul style="list-style-type: none"> 学年末考査(3年) 学習成果発表会
8月	<ul style="list-style-type: none"> 前期期末考査 	2月	<ul style="list-style-type: none"> 学年末考査(1・2年) 卒業式予行
9月	<ul style="list-style-type: none"> 前期終業式 	3月	<ul style="list-style-type: none"> 卒業式 終業式 新入生オリエンテーション



見学旅行(ユニバーサル・スタジオ・ジャパン)



放送局



売店



楽しい給食時間



見学旅行(奈良・東大寺)



追高祭



バドミントン部



鉄道資料館見学



音楽部



ボランティア同好会



アイスキャンドル作りボランティア

Challenge

放送局5年連続全道高校放送発表大会出場(兼NHK杯全国放送コンテスト)
安平町エリア放送「あびらチャンネル」で動画作品放映

放送局が制作した「遊育(ゆういく)」で強豪ひめくち苦小牧地区2位で5年連続全道大会出場を果たしました。制作部員の一人であった井上君は、「将来映像関連の職業に就き、地域が抱えるさまざまな課題と、それに対する自分の思いを表現し、視聴者とともに解決していけるような番組を制作したい」と大学進学を選び、一般入試で北海道情報大学メディア学部に見事合格しました。



(c)苦小牧民報社

生徒の声

追高は居心地の良い
優しい雰囲気の
高校です

五十嵐 希 1年
千歳市立勇舞中学校出身



大規模校よりも少人数で雰囲気が優しい追高に決めました。実際入学してみて改めて居心地の良い高校だと実感しています。郷土資料館や鉄道関連施設など、安平町の歴史を学ぶことが今から楽しみです。

授業は理解しやすく
日々成長を
実感しています

今野 剛志 2年
安平町追分中学校出身



勉強する環境がしっかりしている追高を選んで正解でした。先生方との距離が近く、授業も理解しやすいので、日々成長につながっています。少人数ならではの様々な人たちとの触れ合いも魅力だと思います。

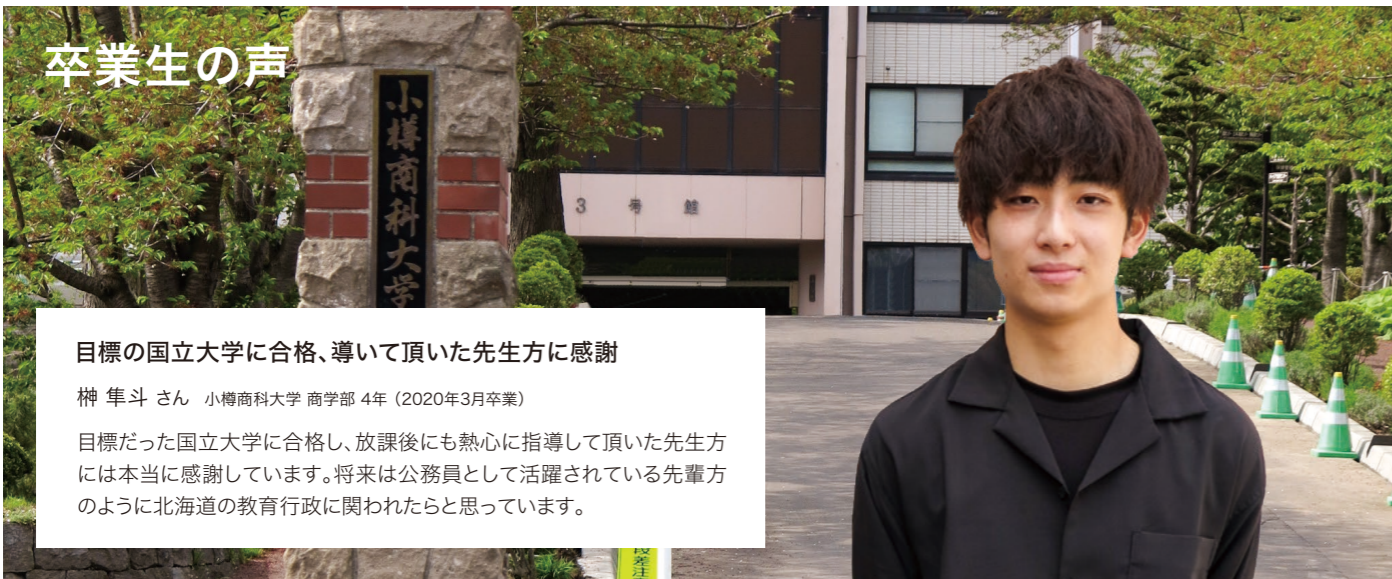
地域の人々と交流できる
追高祭を
成功させたい

萱森 柚奈 3年
千歳市立勇舞中学校出身



生徒会長就任以来、先生方や友だちのサポートもあって楽しく活動しています。今年は制約がなく学校行事ができると思うので、地域の人々と交流できる追高祭を絶対に成功させたいと思っています。

卒業生の声



目標の国立大学に合格、導いて頂いた先生方に感謝

榊 隼斗 さん 小樽商科大学 商学部 4年 (2020年3月卒業)

目標だった国立大学に合格し、放課後にも熱心に指導して頂いた先生方には本当に感謝しています。将来は公務員として活躍されている先輩方のように北海道の教育行政に関われたらと思っています。



少人数だからこそ就職・進学への優位性がある

中崎 凌さん(右) 安平町教育委員会事務局 主事 (2016年3月卒業)

追高は先生と生徒がマンツーマンで学べ、自分のペースで成長できます。進路も豊富な指定校や安平町の就職支援があり、少人数だからこそ希望進路選択に優位だと思っています。

楽しかった思い出しか浮かばない追高生活

永澤 京佳さん(左) 安平町役場健康福祉課 主事 (2017年3月卒業)

社会人となって数年が経ちますが、思い返しても追高での高校生活は楽しいことばかりでした。何より充実した日々を過ごせたからこそ、余裕をもって公務員試験に臨めたと感じています。

個性を尊重する進路指導

▶ 主な進学先

- 小樽商科大学 ●酪農学園大学
- 札幌国際大学 ●札幌学院大学
- 札幌大学 ●北海道情報大学
- 北翔大学 ●星槎道都大学
- 北海道ハイテクノロジー専門学校
- 札幌リハビリテーション専門学校
- 大原医療福祉専門学校 他

▶ 主な就職先

- 安平町役場 ●北海道銀行
- 株式会社三星 ●日本製紙株式会社
- コープさっぽろ ●株式会社ホクリヨウ
- トヨタ自動車北海道株式会社
- 社台ファーム ●北海道丸善株式会社
- 定山溪ビューホテル ●紀文食品
- 陸上自衛隊自衛官一般曹候補生 他

▶ 指定校推薦のある大学・短期大学

- 札幌国際大学・短期大学部 ●旭川大学
- 札幌学院大学 ●北翔大学・短期大学部
- 函館大学 ●國學院大学北海道短期大学部
- 札幌大学・女子短期学部 ●星槎道都大学
- 北海道科学大学 ●北海道情報大学
- 北星学園大学短期大学部
- 函館大谷短期大学 ●帯広大谷短期大学
- 他道内外大学・短期大学・専門学校

▶ 目指せる資格

- ビジネス文書実務検定
- 情報処理検定
- 漢字能力検定
- 実用英語技能検定
- 危険物取扱者資格検定

*安平町支援による検定試験受験料の半額補助があります

- 毎年大学進学者輩出
- 就職10年連続90%以上決定



安平町
誘致企業会 53社
就職を強力にバックアップ



スーツ着こなし講座

北海道追分高等学校に対する安平町の支援

北海道追分高等学校の教育活動に対して、安平町では下記のとおり、進学する生徒への各種支援をはじめ、将来の進路に関する支援活動を高校側と協力して行い、大学等進学や就職が100%につながる体制を整えています。ひとりでも多くの皆さんが追分高等学校に入学し、将来の夢に向かって充実した学校生活を送れるよう支援して参ります。

就学費援助

学校諸納金や学年会費を支給。就学費に関する心配はありません。
※町内居住者全額
※町外居住者1/2(13,000円上限)

通学費援助

JR利用による通学者に対して通学定期代金を全額補助。
※2023年度から対象生徒全員が全額補助となりました。

奨学金

安平町育英基金奨学金 (月額6,000円)
※町内居住者専用制度

各種全道全国大会出場者への補助

高体連、高文連以外の大会に出場する生徒の遠征費等の補助。クラブ活動も支援します。

検定・資格取得補助

資格等の各種検定料の「半額」を補助。多くの資格取得を目指してください。

外国語指導助手派遣

道派遣のALTに加え安平町からの派遣もあり、2名のALTで生徒の英語力向上を図っています。

学社融合事業支援

選択の福祉・食物・体育の実習では、町内外のさまざまな事業所の協力を得た魅力ある授業を実施しています。

就職支援

安平町誘致企業会(53社)や社員募集が多くいる企業に協力していただき、卒業生の採用要請活動を展開しています。

ICT端末全員支給

高校入学時にICT端末を新たに購入する必要がありません。

給食

地産地消を心がける安平町給食センター利用による給食が2023年度から開始。小中学校とほとんど変わらない費用で利用できます。 ※希望者のみ

2023年度
導入開始



理想の進路を実現されるよう支援します

安平町では地元追分高等学校で学ぶ皆さんに対して、保護者の負担軽減や学力向上の支援はもちろん、安平町誘致企業会などのご協力により、手厚い就職支援も行い成果を出しております。安平町は「町全体が人を育てる大きな学校」との教育理念のもと、追分高等学校の皆さんに温かく接して参りました。社会と学校が一体感をもつ環境のもとで理想の進路を実現されますよう支援します。

安平町長 及川 秀一郎



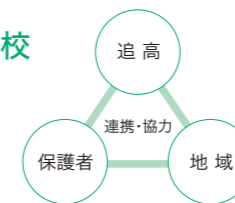
安心・安全の対策

更に災害対応強化を計ります

- 緊急時対応マニュアル策定
- 防災点検(毎月)、避難訓練(年2回)
- 各種交通安全関連指導
- ケータイ教室 安心・安全講話
- いじめ防止マニュアル策定
- コロナ禍の感染防止策の徹底

コミュニティ・スクール指定校

コミュニティ・スクールとは、学校・保護者・地域が、連携・協力して、「地域と共にある学校」を推進するものです。本校はその指定校として期待されています。



これからもひとり一人をしっかり受けとめる追高であってほしい

PTA会長 川浪 和美
近年の追高は中学時代につまずいた子供であっても毎日楽しく通学し、のびのびと学べる高校となっています。これからもひとり一人の生徒をしっかり受けとめ、成長に導いてほしいと願っています。



PTA役員一同

小規模校ならではの行きとどいた教育を目指します 校長 石若 拓哉

本校は、ICTを活用した少人数の学習指導はもとより、コミュニティ・スクールとして地域と連携したキャリア教育や探究活動などにおいても小規模校の利点を活かした生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育を目指しております。
また、安平町から、通学費、資格取得、就職支援をはじめとするご支援をいただき、充実した教育が具体的な成果となって現れております。
今後も地域の期待に応え、時代の変化に対応した教育活動に努めて参ります。

